宮崎県文化財調査報告書

第 38 集

平成7年3月

宮崎県教育委員会

宮崎県文化財調査報告書

第 38 集

平成7年3月

宮崎県教育委員会

序

埋蔵文化財の保護・活用につきましては、日頃より深い御理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

宮崎県教育委員会においては、文化財の保護及び文化財指定のための調査や、土木工事等の諸開発事業に伴う遺跡の緊急発掘調査の報告を刊行し、文化財に対する理解をいただいているところであります。

この度は、平成４・５年度調査の古城第３遺跡、平成４年度調査の、馬場第１遺跡、昭和61年度調査の小町遺跡の発掘調査について収録しております。

本書が、社会教育・学校教育の場において広く活用され、あわせて学術研究上の資料として役立つことを期待いたします。

尚、調査に際してご協力いただいた地元の方々、及び市町村教育委員会の方々に深甚の謝意を表します。

平成７年３月

宮崎県教育委員会

教育長　田　原　直　廣

例　　言

1．この報告書は、宮崎県教育委員会が主体となって実施した埋蔵文化財発掘調査の成果を収録したものである。

2．掲載している遺跡名・所在地・調査期間・執筆者は下記のとおりである。

3．本報告書の編集は、宮崎県教育庁文化課が行った。

4．古城第3遺跡・馬場第1遺跡の名称については、発掘調査の通知時に、平成4年度調査分を「馬場・古城遺跡」として一括して扱い、平成5年度分は「馬場第2遺跡」を用いたが、報告するにあたり遺跡の位置等を再検討し、前者は2遺跡に分けて後者は「古城第3遺跡」に変更した。

記

遺跡名	所在地	調査期間	調査担当	執筆者
古城（ふるじょう）第3遺跡	佐土原町	平成4年11月26日～4年12月27日	吉本正典	吉本正典 戸高眞知子
		平成5年4月27日～5年5月20日	戸高眞知子	
馬場（ばば）第1遺跡	佐土原町	平成5年1月5日～5年1月22日	吉本正典	吉本正典
小町（こまち）遺跡	佐土原町	昭和61年7月3日～61年7月25日	面高哲郎	面高哲郎

総　目　次

1．古城第3遺跡・馬場第1遺跡の調査 …… 1

2・小町遺跡の調査 …… 1

1．古城第３遺跡・馬場第１遺跡の調査

本　文　目　次

第Ⅰ章　はじめに …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　遺跡の位置と環境 …… 1
第Ⅱ章　古城第３遺跡の調査 …… 1
　第１節　調査の概要 …… 2
　第２節　出土遺物 …… 2
第Ⅲ章　馬場第１遺跡の調査 …… 1
　第１節　調査の概要 …… 4
　第２節　出土遺物 …… 4
第Ⅳ章　まとめ …… 1

挿　図　目　次

第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡 …… 1
第２図　古城第３遺跡　地形図及び調査区配置図 …… 2
第３図　古城第３遺跡　出土遺物実測図 …… 3
第４図　馬場第１遺跡　地形図 …… 5
第５図　馬場第１遺跡　出土遺物実測図 …… 5

図　版　目　次

図版１　古城第３遺跡 …… 7
図版２　古城第３遺跡 …… 8
図版３　馬場第１遺跡 …… 9
図版４　古城第３遺跡・馬場第１遺跡　遺物 …… 10

2．小町遺跡の調査

本文目次

1．遺跡の位置 …… 11
2．調査に至る経緯 …… 12
3．調査の概要 …… 12
4．遺構と遺物 …… 14
5．まとめ …… 16

挿図目次

第1図　遺跡の位置 …… 11
第2図　発掘調査地 …… 12
第3図　遺構分布図 …… 13
第4図　溝状遺構土層図及び土壙3・4実測図 …… 14
第5図　出土遺物実測図 …… 15

図版目次

図版1　小町遺跡調査状況 …… 17
図版2　小町遺跡調査状況 …… 18

付1．平成5年度埋蔵文化財発掘調査一覧 …… 19
付2．平成5年度宮崎県市町村教育委員会
　　発行埋蔵文化財調査報告書一覧 …… 26

古城第3遺跡

馬場第1遺跡

例　　言

1．本報告は、県道宮本・新町線道路改良事業に伴い県教育委員会が実施した古城第３遺跡及び馬場第１遺跡の発掘調査報告書である。

2．古城第３遺跡の発掘調査は平成４年11月26日から平成４年12月27日にかけて県教育庁文化課主事吉本正典が、平成５年４月27日から平成５年５月20日にかけて同主事戸高眞知子がそれぞれ担当して実施した。

　また、馬場第１遺跡の発掘調査は平成５年１月５日から平成５年１月22日にかけて吉本の担当で実施した。

3．本報告の執筆は、第Ⅱ章の第２節と第Ⅲ章を吉本が、他を戸高が担当し、編集は吉本が行った。

4．出土遺物は、県総合博物館埋蔵文化財センターに保管している。

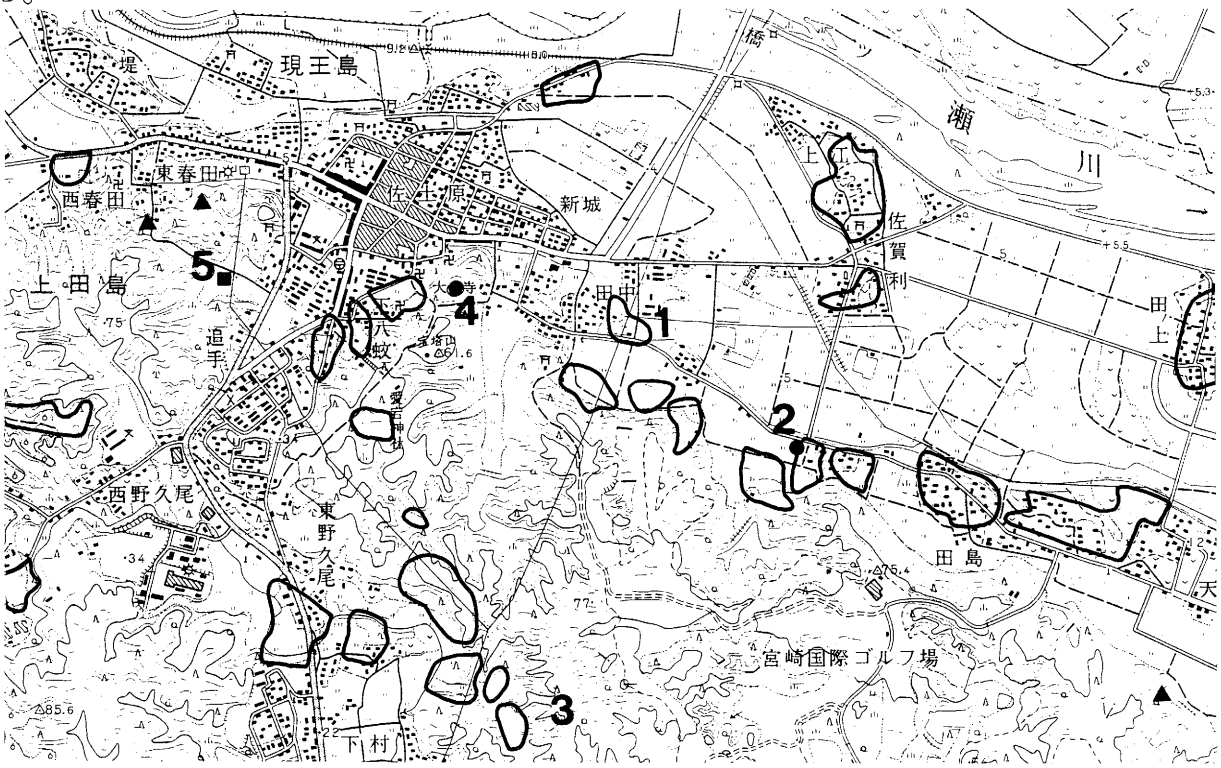
第Ⅰ章　はじめに

第１節　調査に至る経緯

佐土原町宮本の国道10号線から西に分岐し、一ツ瀬橋を経て新富町に至る県道宮本・新町線は、かねてより宮崎土木事務所によって道路改良事業が実施されてきたが、計画路線内およびその南側には佐土原町遺跡詳細分布調査で確認されている遺跡が散在し、平成４年度工事予定地が遺跡の周辺部に当たることから、県文化課は宮崎土木事務所と協議の上、平成４年11月26日から12月27日までと平成５年４月27日から５月20日まで古城第３遺跡の調査を、平成５年１月５日から１月22日まで馬場第１遺跡の調査を実施した。

第２節　遺跡の位置と環境（第１図）

古城第３・馬場第１遺跡は、宮崎県宮崎郡佐土原町大字上田島字古城・馬場に所在し、一ツ瀬川右岸の最も新しい河岸段丘「下田島面」の北縁部に位置する。この段丘の北西部は標高５ｍ前後の微高地で旧佐土原藩の市街地が形成されているが、古城・馬場地区では開析によって狭小に分断されて北に低い緩傾斜地になっており、弥生時代から中世にかけての遺物散布地が確認されている。また、南方および南西側には段丘が侵食されてできた標高40～80ｍの丘陵群があり、近年佐土原町によって調査された下村窯跡群など弥生時代から近世に至る遺跡が数多く散在している。古城第３遺跡の西約0.5㎞の丘陵北端の高地には、中世に建立された大光寺がある。



第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡（１／25,000）
１．古城第３遺跡　２．馬場第１遺跡　３．下村古窯址群　４．大光寺
５．佐土原城址　◯ 遺物散布地　▲横穴古墳群

第Ⅱ章　古城第３遺跡の調査

第１節　調査の概要（第２図）

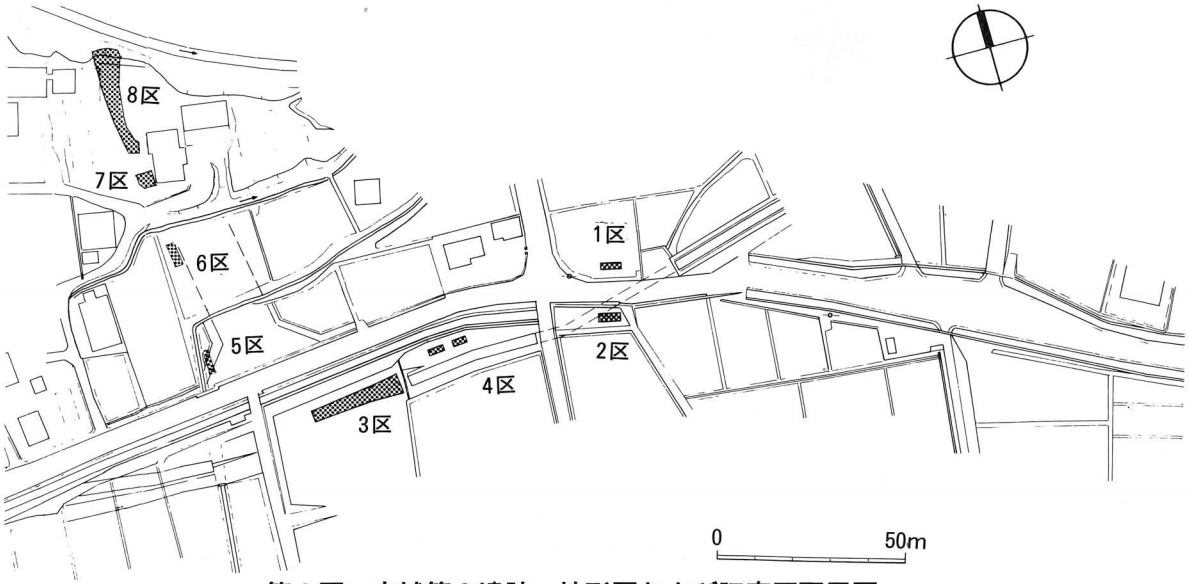
古城第３遺跡は、平成４年度と同５年度に調査を実施した。

平成４年度は、東西に伸びる道路の南北の拡幅部分と、一ツ瀬橋に向かって北へ延びる新設道路予定地のうち低位の水田部分について発掘調査を実施し、拡幅部分に１～４区、新設部分に５・６区の調査区を設定した。拡幅部分の基本層序は、Ⅰ層（現表土・客土）、Ⅱ層（灰褐色～灰白色を呈する旧水田耕作土で、中・近世の遺物を含む）、Ⅲ層（灰黒色砂層。うすい）、Ⅳ層（青灰色シルト。鉄分含浸。旧水田耕作土か）、Ⅴ層（灰黒色粘土。基盤層。木片などの自然遺物を含む）となる。調査の結果、古墳時代から近世に至る遺物が出土したが、本来存在したと考えられる主たる遺物包含層は残存しておらず、遺構も検出されなかった。

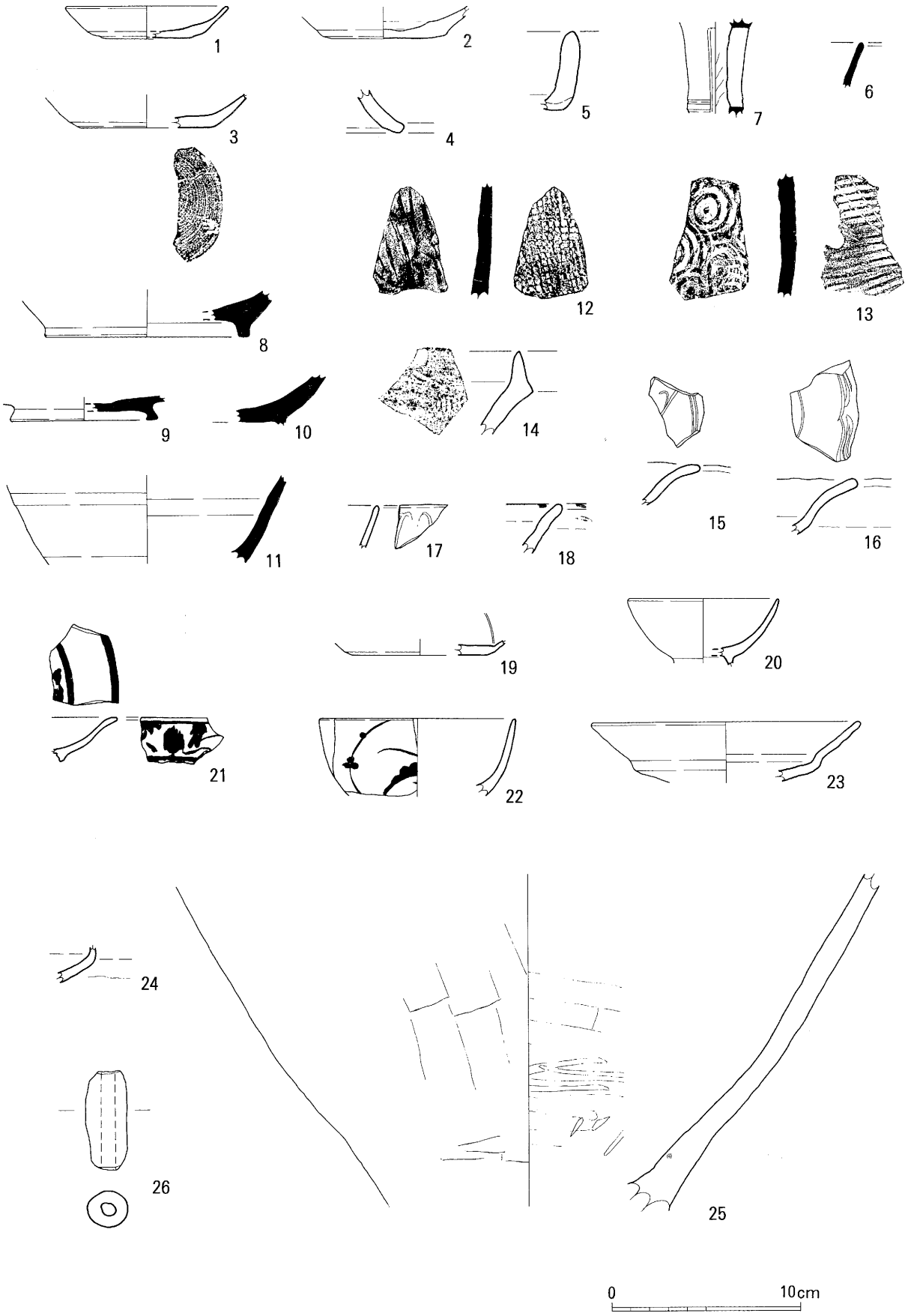
平成５年度は、さきの道路新設予定地を調査対象地とした。このうち、段丘の原地形に近く、遺跡本体がよく残っていると予想される部分について発掘調査を実施することにしたが、表土の除去後、東半部に撹乱や埋め立ての状況が確認されたので、西部の地山の残存のよい箇所を選んで調査区７・８区を設定した。また、４年度の調査で遺物が出土した５・６区のある南側水田および北側の低地沖積層上の水田についても遺構・遺物が存在する可能性があるので、調査期間中、掘削面や排土の観察を怠らないよう留意した。

調査の結果、表土直下のシルト層面で時期不明の柱穴が３基検出されたが深さは15～30㎝と浅く、予想に反して遺跡がかなり削平されていることが判明した。調査区北端の段丘縁辺にあたる斜面では、随所にトレンチを設定して土層の堆積状況を観察し、過去の地山の崩壊、土砂の自然堆積、近年の削平・整地時の客土の堆積が確認された。遺物は、柱穴内より数点の土器小片が出土した他、斜面堆積土中から弥生時代～近世の土器片・陶磁器片約300点が出土したが、磨耗しているものや細片が多く、次節に掲載すべきものは少なかった。

また、水田部分については南側で須恵器片１点を採拾した他は特筆すべき状況はなかった。



第２図　古城第３遺跡　地形図および調査区配置図



第３図　古城第３遺跡出土遺物実測図（１／３）

第２節　出土遺物（第３図）

遺物については、前述の通り明確な包含層が認められず、また平面位置も原位置を止めているとは考えられないため、細かな出土位置や層の明示は、必要と考えられるものを除き、行わないこととする。

１～３は土師器の杯である。１は７区出土で底部ヘラ切り。やや淡い橙色を呈し、胎土は精良。２は８区出土。小片のため不鮮明だが、底部は糸切りと見られる。３も８区出土。底部は糸切り。２・３とも橙色を呈し、胎土中に赤色粒・光沢粒を含む。４は高杯か台付鉢の脚と見られる。黄白色を呈し、胎土中に赤色粒を含む。内面は調整が粗い。５は８区出土の土師質の盤あるいは、焙烙で、外面下半には火熱を受けた痕跡が残る。胎土中に赤色粒を含む。

６～13は須恵器である。６は２方向のすかし窓を有する。おそらく長脚の高杯脚部であろう。下部に凹線を巡らせる。３区のⅡ層のゆるやかな落ち込み部分より出土。他の遺物と比べて時期的に遡るようである。７は８区出土の杯身である。外・内面とも回転ヨコナデ痕が残る。８～10は高台付きの杯身である。８・９は７区、10・11は８区出土。８は焼きがやや甘く軟質である。11・12は甕の胴部片で、外面に格子目タタキ、平行タタキの痕跡、内面には同心円文、円弧文が認められる。11は８区出土。

14は客土出土のすり鉢で、淡い赤褐色を呈する。内面に部分的に櫛目が認められる。

15～17は青磁である。15・16は稜花皿。15は客土、16は１区出土。17は椀で、外面に蓮弁文を施す。

18は１区出土の緑灰色を呈する磁器で、口唇部の内側や外面の一部に鉄釉で文様を描いている。唐津焼の四方皿と考えられる。

19・20は白磁である。19は平底の皿で、全面に淡い青灰色の釉をかけている。１区出土。20は小椀で、体部下部から底部にかけては露胎となる。７区出土。

21は中国産の染付皿。見込みに界線を巡らせ、その内側に文様を描いている。

22は６区出土の国産の染付椀。外面に梅花文を描いている。

23は国産陶器であろうが、産地等は判然としない。やや褐色味を帯びた灰白色を呈し、器面には細かい凹凸が見られる。

24は国産磁器の椀で、体部下部は露胎となる。６区出土。

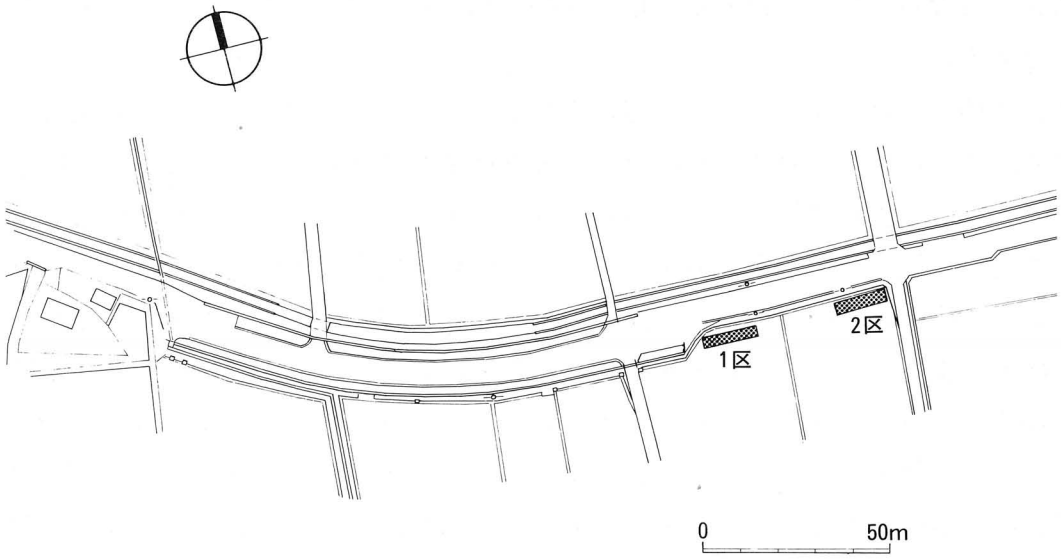
25は国産陶器の甕の胴下部。外・内面とも、粗い工具による調整痕が残る。

26は11区出土の土錘。重量は20.5ｇ。

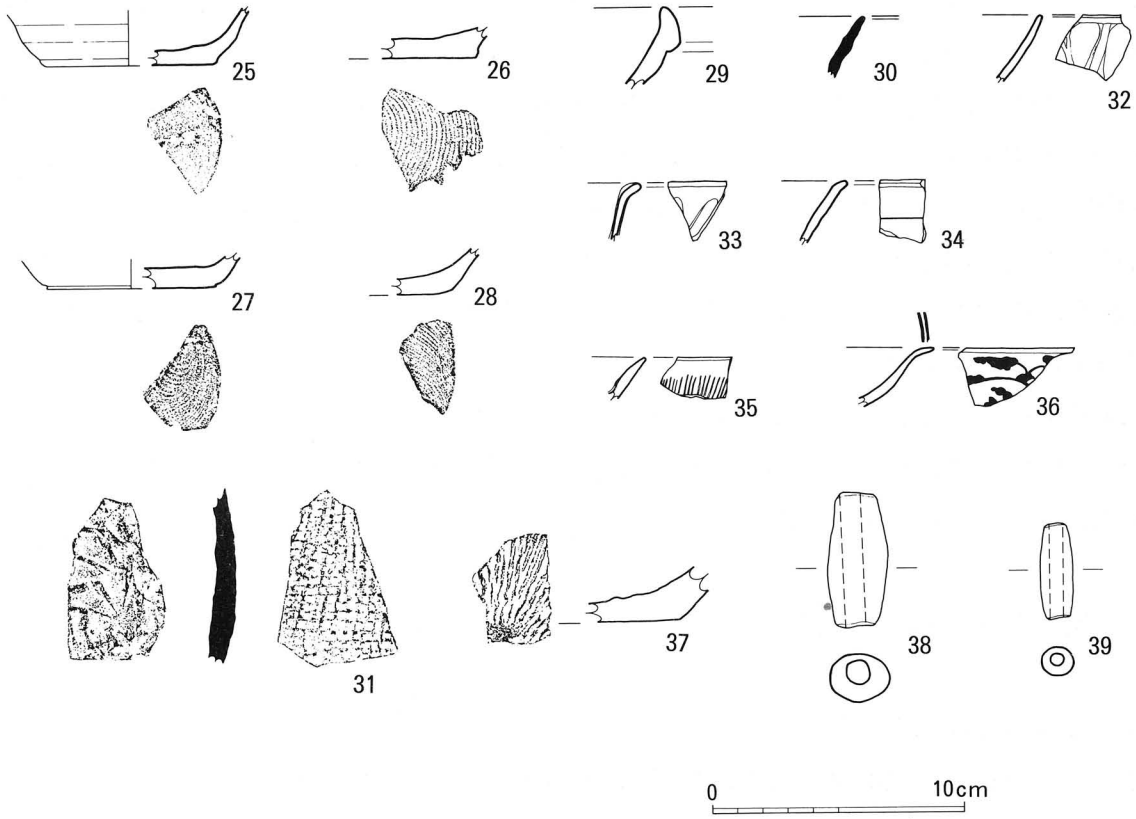
第Ⅲ章　馬場第１遺跡の調査

第１節　調査の概要（第４図）

本遺跡は古城第３遺跡の東約0.8㎞の位置に所在する。遺跡地の現況は水田であり、調査対象地内に２カ所の調査区（１区・２区）を設定した。ただし、１区の方は湧水のため途中で掘り下げを断念している。



第４図　馬場第１遺跡地形図



第５図　馬場第１遺跡　出土遺物実測図（１／３）

遺物は、Ⅱ層とした旧水田耕作土から出土しているが、その数は多くはなく、またローリングを受けた小片がほとんどである。これは古城第3遺跡と同様、二次的に他所より流れ込んだか、本来の遺物包含層が破壊された結果と考えられる。

尚、基盤層は古城第3遺跡の状況を参考にすると、灰黒色の粘土になると推測されるが、確認はしていない。

第2節　出土遺物（第5図）

25～28は土師器の杯・皿である。全て底部は糸切り。胎土中に赤色粒を含む。25は2区出土。赤みがかった橙色を呈する。底部からわずかに膨らんで立ち上がる器形となる。26は2区出土。淡い褐色を呈する。焼成は良好で堅緻である。27も2区出土のもので、橙色を呈する。25と同じく体部が膨らむものであろう。底面と体部の境に凹みが見られる点も共通する特徴である。28は暗い褐色を呈する。これも2区出土。

29は磨滅のためはっきりしないが、こね鉢と考えられる。口縁部が玉縁状に肥厚している。淡い褐色～黒褐色を呈する。2区出土。

30は直線的に開く須恵器の杯身の口縁部と見られる。外・内面の全面に回転ヨコナデの痕跡が残る。2区出土。31は格子目タタキの須恵器の甕胴部。2区出土である。

32・33は青磁椀。ともに外面に蓮弁文を描いている。35も青磁の皿と考えられるが、詳細は不明。

34は白磁の椀。外面に1条沈線を巡らせている。

36は中国産の染付皿。外面に唐草文を、口縁部内面に界線を巡らせる。

37はすり鉢の底部。櫛目は深く、シャープである。32～36は全て2区出土。

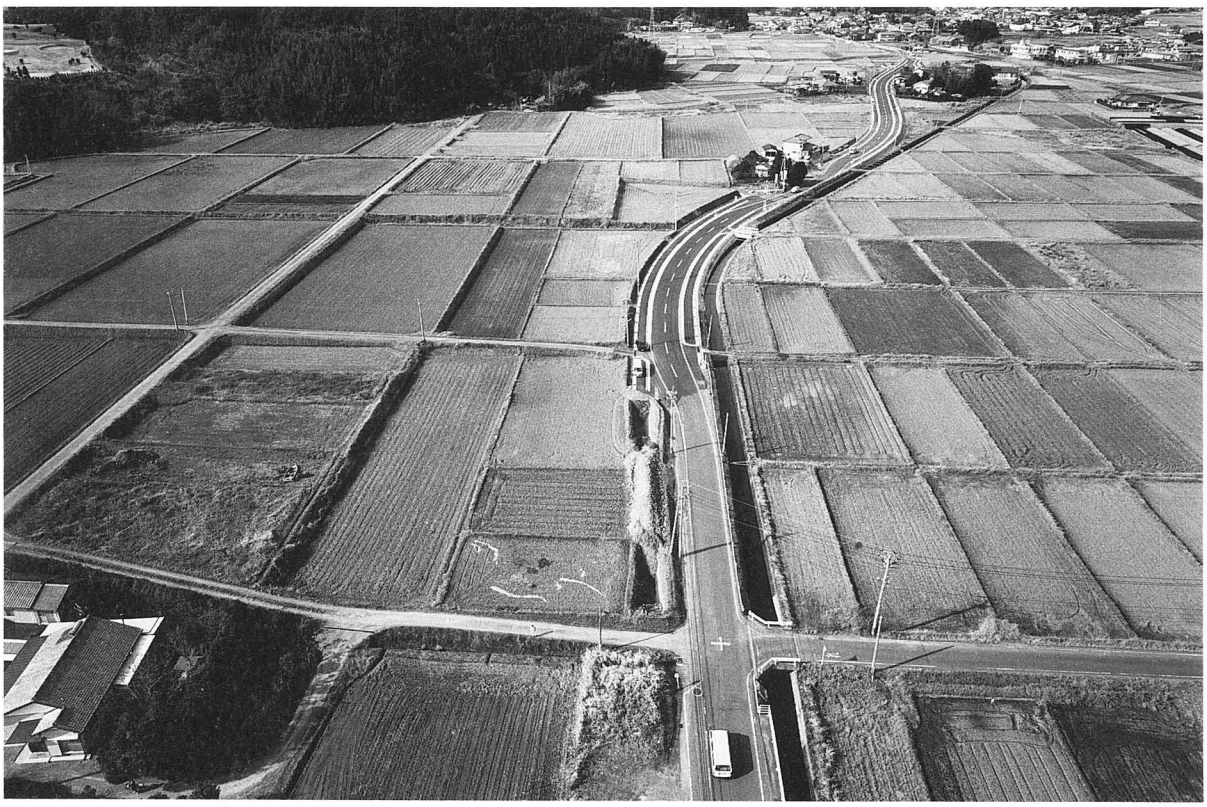
38・39は土錘。重量はそれぞれ22.5ｇ、4.9ｇ。

第Ⅳ章　まとめ

古城第3遺跡・馬場第1遺跡の調査により、弥生時代から近世までの遺物が出土したことから、この地が永く往時の人々の生活圏内にあったことが確認された。

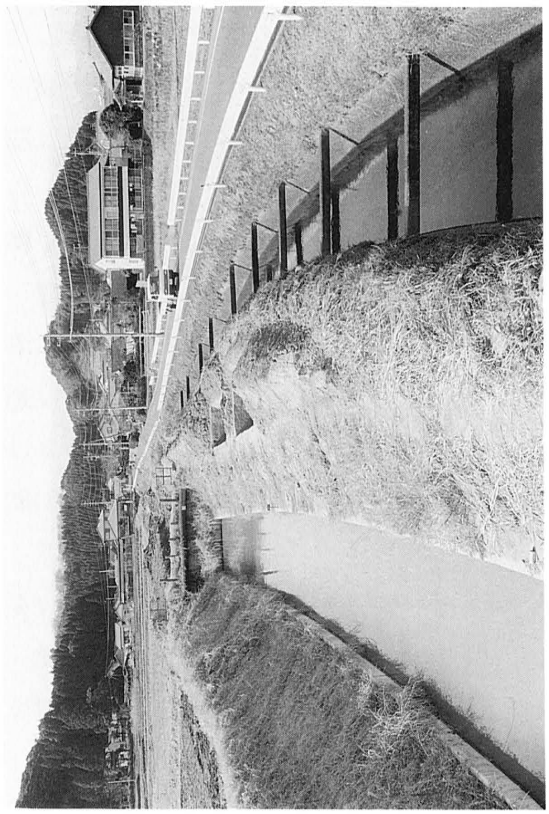
しかし、今回の調査では、後世の削平のため、その生活の実態を知るべき遺物包含層や明確な遺構は検出されなかった。両遺跡が段丘の最縁辺にあたることや遺物の内容と磨耗の状況を考えると、遺跡の本体は南側段丘上に位置し、弥生時代から古墳時代までは居住地、それ以降は生産に関わる作業場的なものがあったが、近世以降の水田の開墾によってかなり削平を受けた、と想像できる。分断された段丘間に入り込む低地沖積層は、中世以前に、あるいは弥生時代から、すでに水田として利用されていた可能性もある。

古城第３遺跡　全景（上空から）

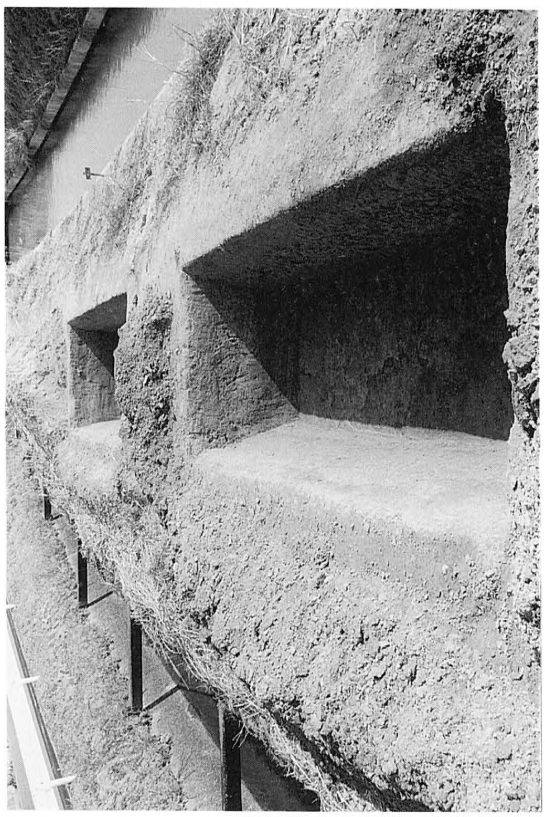


馬場第１遺跡　全景（上空から）

図 版 2

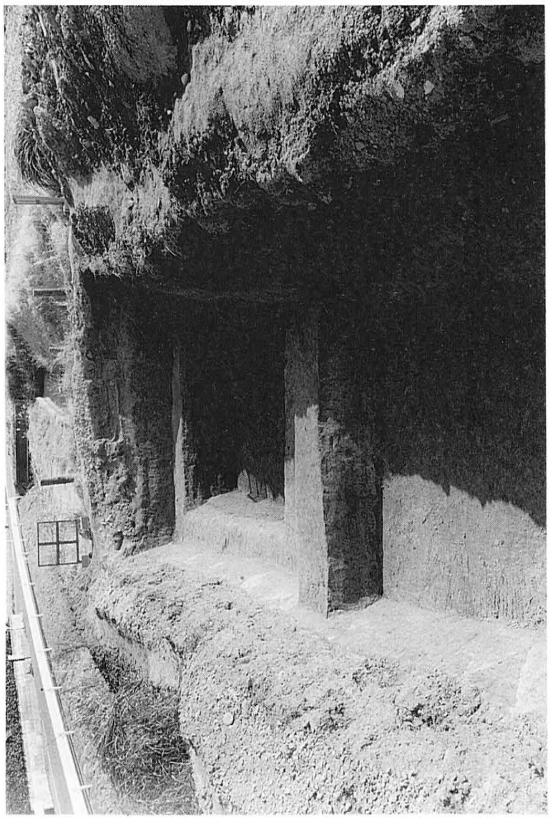


3・4区近景（東から）

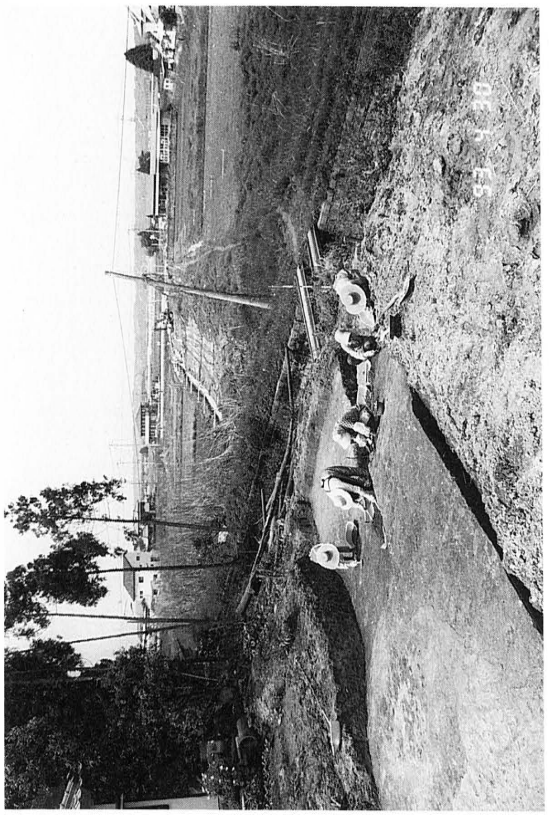


4区の状況（西から）

古城第3遺跡3区層序

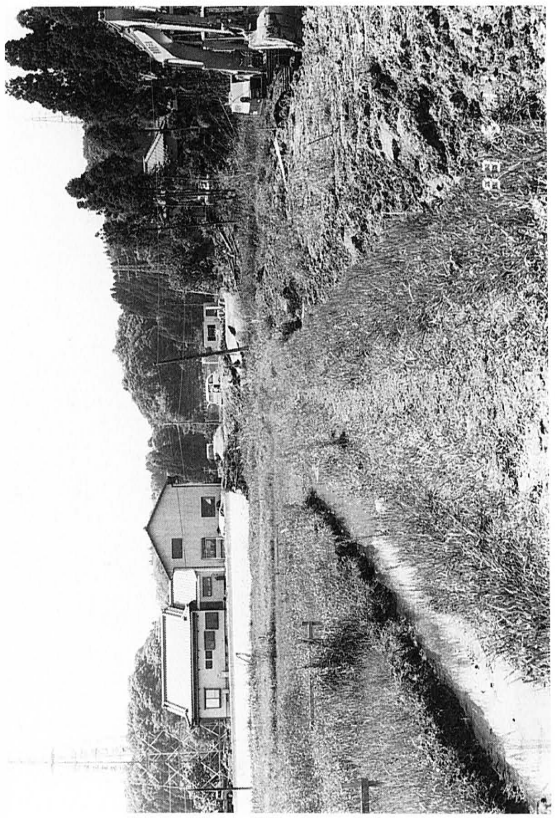


3区東半の状況（西から）

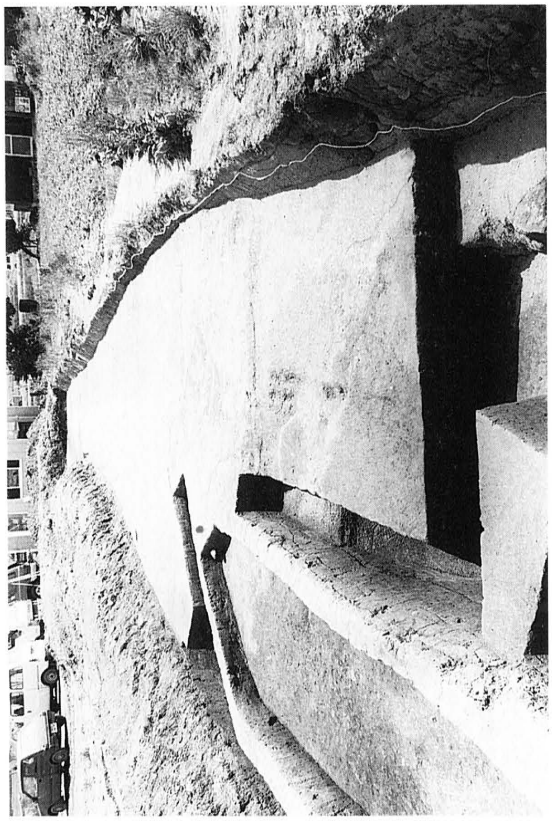


8区北半調査状況（南東から）

馬場第1遺跡1区調査状況（西から）



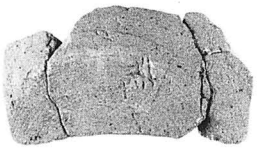
7・8区近景（北から）



8区の状況（北から）

図 版 4

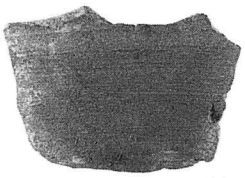
1


3

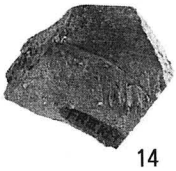
5

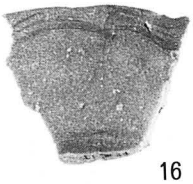
7

9

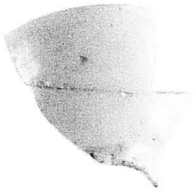

11

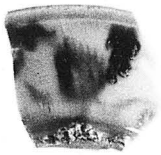
12

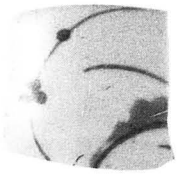

14

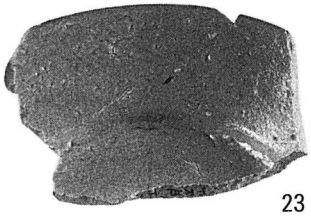

16

18


20


21

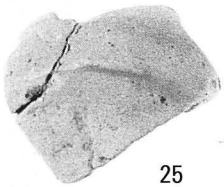

22


23

24

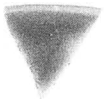
26

古城第３遺跡　遺物

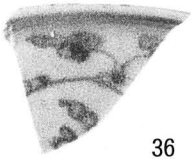

25

29

32


33

35


36

37

39

馬場第１遺跡　遺物

小　町　遺　跡

例　　言

1　本報告は、2級河川石崎川の河川改修工事に伴い、宮崎県教育委員会が実施した小町遺跡（宮崎郡佐土原町大字東上那珂字小町）の発掘調査報告書である。

2　発掘調査は、昭和61年7月3日から7月26日までの間文化課面高哲郎の担当で実施した。

3　本報告の執筆・編集は面高哲郎が行った。

4　出土遺物等は、宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターで保管している。

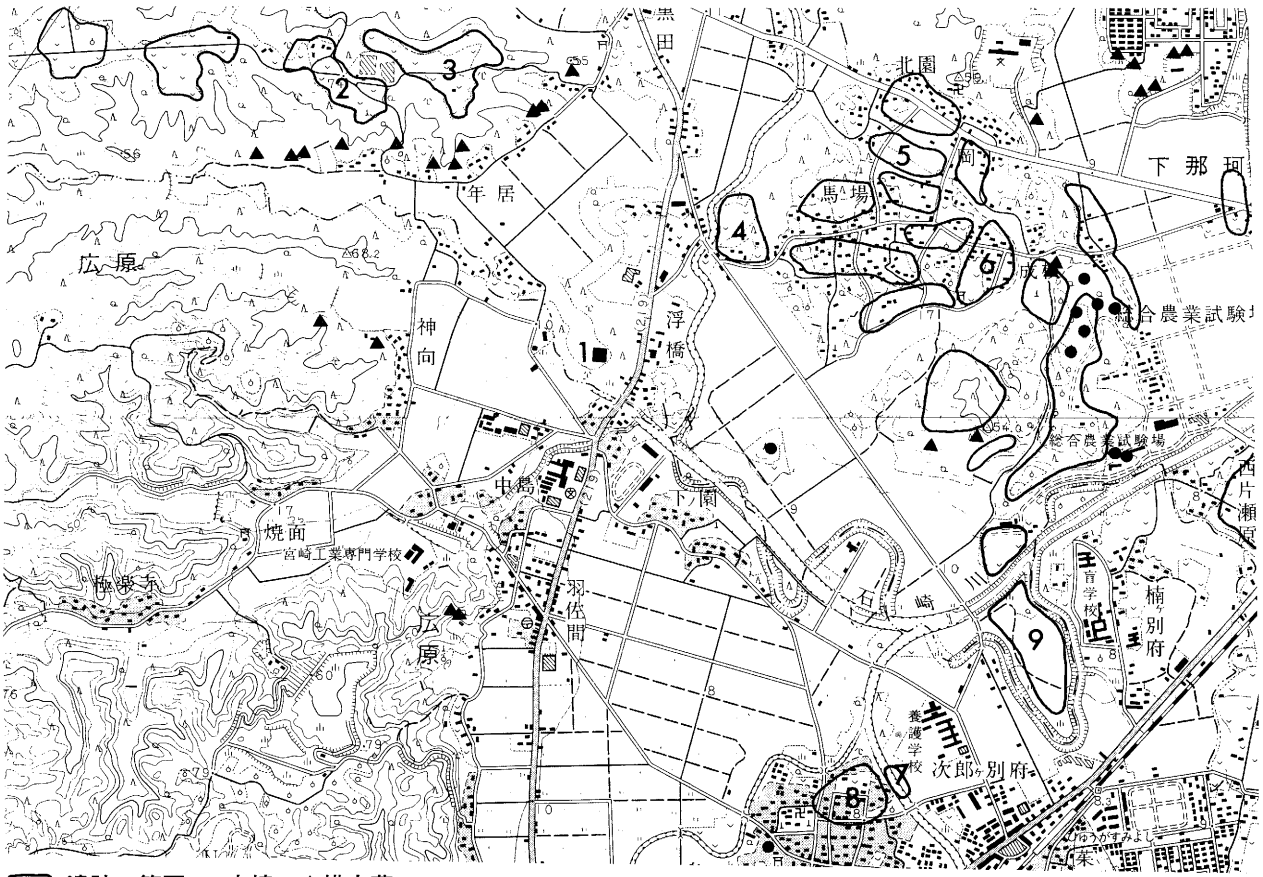
小町遺跡の調査

1　遺跡の位置（第１図）

佐土原町南西部の船野台地（標高80～90ｍ）・年居台地（標高80～90ｍ）・佐土原丘陵（標高60～70ｍ、80～90ｍ）にかこまれた一帯には、標高20ｍ前後の那珂低地がある。低地の中央部には石崎川が蛇行しながら東流し、流域沿いには沖積地が発達している。石崎川は、蛇行しながら東流しているため、流域沿いに舌状張出し部がいく筋も見られる。

小町遺跡は、石崎川とその支流である大町川が合流する所の舌状張出し部に立地する。遺跡の立地する舌状張出し部の縁辺にあたる流域沿いは１ｍほどの低くなっている。

現在まで小町遺跡周辺で確認されている遺跡について見ると、縄文時代の遺跡は、下講中第１・２遺跡、井上第１遺跡など台地や丘陵上の平坦部に多くは立地している。弥生時代以降の遺跡は、台地上にも所在するほか丘陵裾の緩斜面、那珂低地の微高地や砂丘上で多く確認されている。小町周辺で低地に立地する弥生時代の遺跡は、保木下遺跡やその南の微高地上に島之内遺跡、南東に舌状に張出す微高地上には檍第２遺跡があり、古墳時代の遺跡は丘陵裾の緩斜面上に西ノ城遺跡等がある。墳墓については、台地上や砂丘上に古墳が所在しているが、台地



遺跡の範囲　●古墳　▲横穴墓

1．小町遺跡　2．下講中第１遺跡　3．下講中第２遺跡　4．西ノ城遺跡　5．井上第１遺跡　6．成枝権現遺跡
7．保木下遺跡　8．島之内遺跡　9．檍第２遺跡

第１図　遺跡の位置

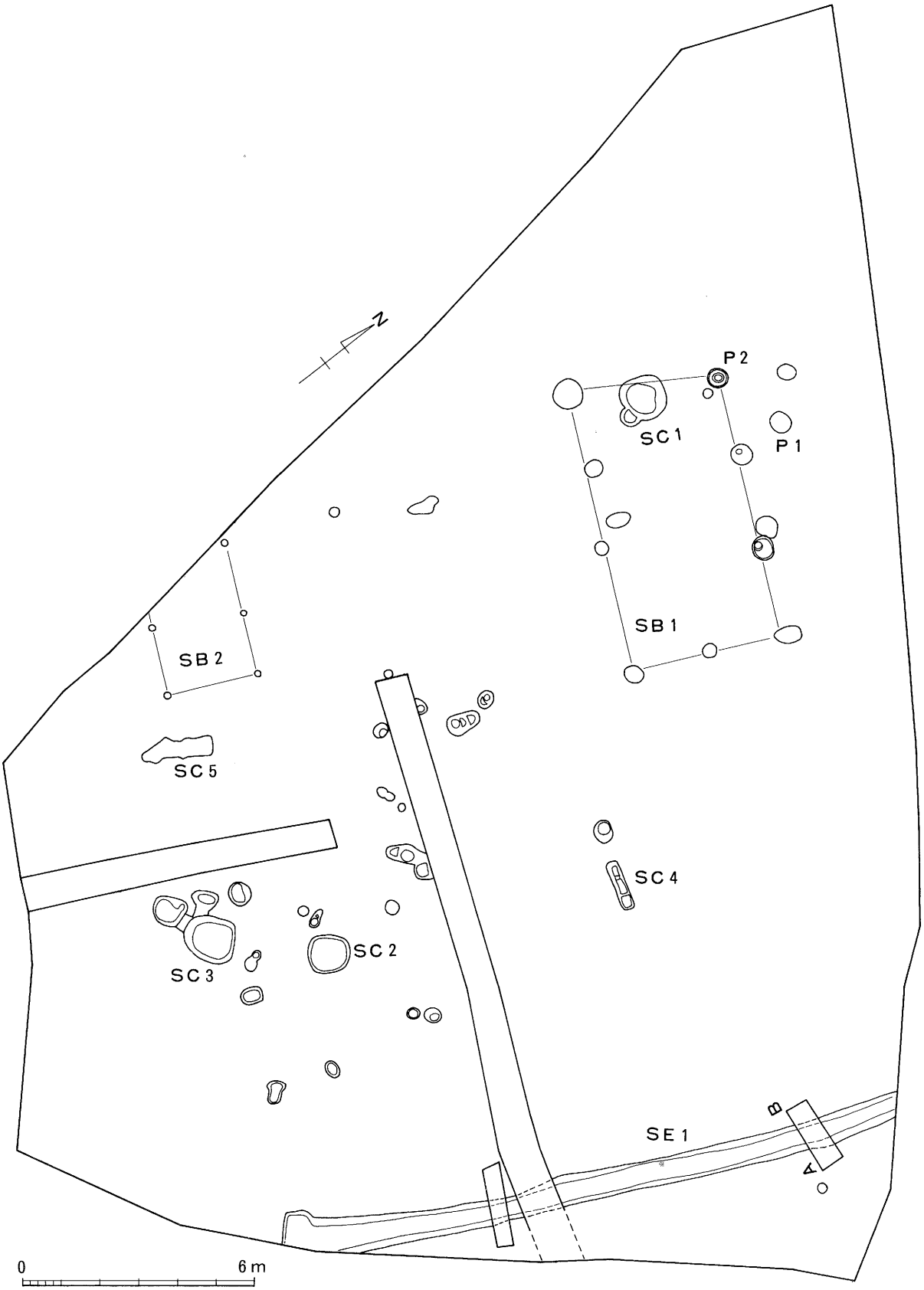
や丘陵の斜面では多く横穴墓群が確認されており、一帯は県内では横穴墓群の密集地として知られている。奈良～平安時代の遺跡は成枝権現遺跡の１カ所であるが、周辺に未発見の遺跡が多く存在するものと予想される。小町遺跡南の広原では完形の玉縁口縁の白磁碗が採集されている。

2　調査に至る経緯（第２図）

宮崎土木事務所では、昭和51年から蛇行の激しい石崎川水系の河川改修を行っている。昭和59年９月から１月には、石崎川の支流である新名爪川の河川改修に伴い保木下遺跡の発掘調査を実施している。昭和60年９月に土木事務所から石崎川の河川改修予定地内における文化財の有無についての照会があり、10月に分布調査を実施している。その際、小町遺跡部分では遺物の散布は認められなかったが、地形上、遺跡の可能性があったので、昭和61年３月試掘調査を実施した。調査により、遺構は検出されなかったが、表土下の第Ⅲ層黒褐色で土師器片が出土したので、中世以降の遺跡が所在することが確認された。対象地の土地利用は水田で、開田等の際、相当削平を受けており包含層の残存状況は良くない。

発掘調査は、河川改修により石崎川が横断することになる舌状の張出し部で、包含層が残存する張出し部高所の900㎡を調査対象面積として昭和61年７月に実施した。

第２図　発掘調査地



第3図　遺構分布図

3　調査の概要（第３図）

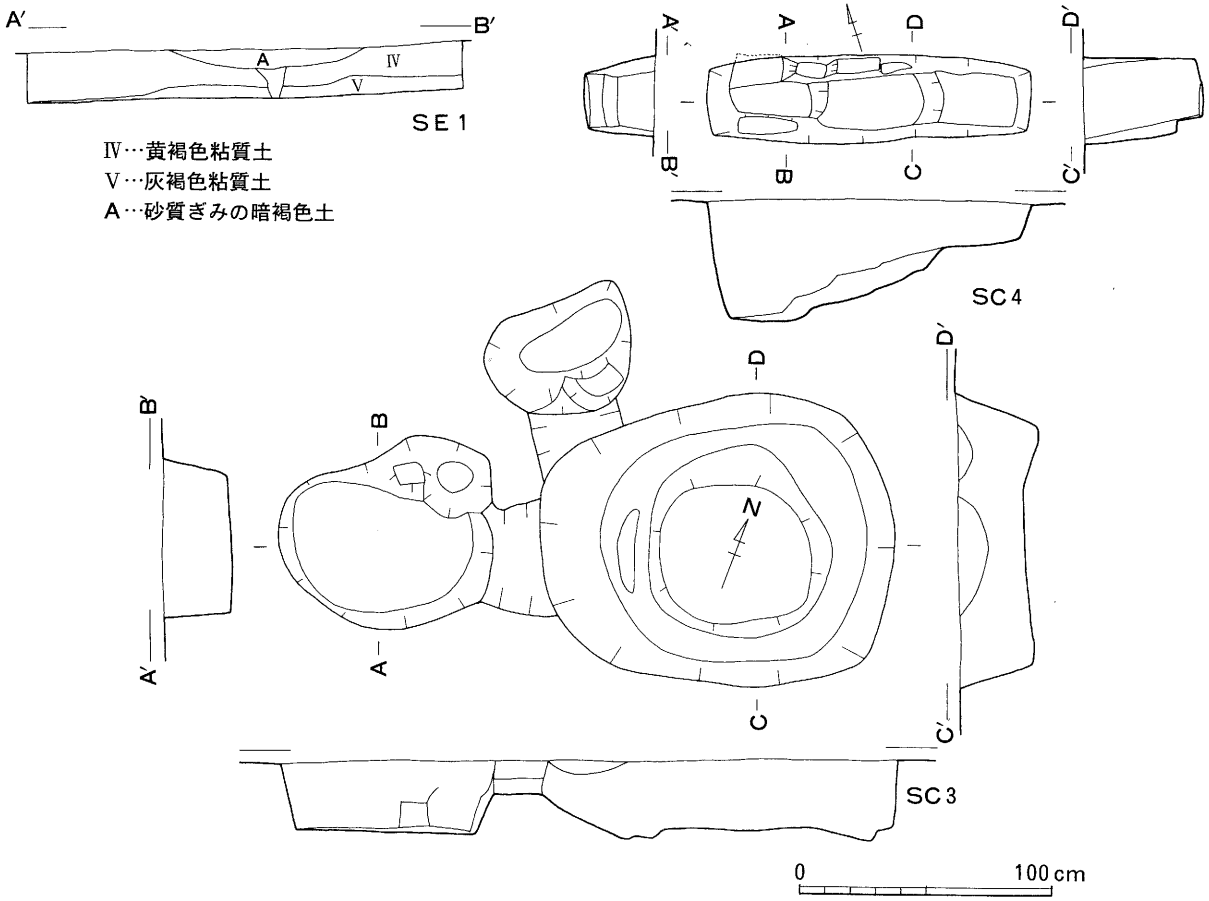
調査地の基本層序は、第Ⅰ層耕土、第Ⅱ層褐色粘土、第Ⅲ層黒褐色粘土、第Ⅳ層黄褐色粘質土、第Ⅴ層灰褐色粘質土、第Ⅵ層灰褐色砂質土であるが、開田等の際の削平により、第Ⅰ層耕土下は第Ⅳ層黄褐色粘質土となっているところが多い。

試掘調査で土師器片が出土しているが、調査内での遺物散布は少ない。調査は、第Ⅰ層を重機で除去後遺構の検出に努め、その結果、掘立柱建物跡（ＳＢ）、溝状遺構（ＳＥ）、土坑（ＳＣ）、ピット（Ｐ）等が検出された。遺物は、須恵器坏蓋、土師器、近世の陶磁器等が出土している。

4　遺構・遺物（第４・５図）

遺構（第４図）

掘立柱建物跡：２棟検出されている。ＳＢ１は主軸をＮ－66°－Ｗにとる。建物は4.02ｍ×7.31ｍの規模で東梁行２間、西梁行１間、南桁行２間、北桁行３間となっている。柱穴は、南桁行の西端の柱穴径74㎝、深さ59㎝以外は、柱穴径35㎝～52㎝、深さ40㎝前後である。北桁行の３個の柱穴は２段掘り状となっており、この径は18㎝～26㎝を測る。これは、柱痕と考えられる。ＳＢ２は主軸をＮ－64°－Ｗにとる。確認できるのは１間×２間である。１間×２間であった場合の規模は2.42ｍ×3.55ｍである。柱穴は、南桁行の西端の柱穴径19㎝、深さ12㎝以外は、

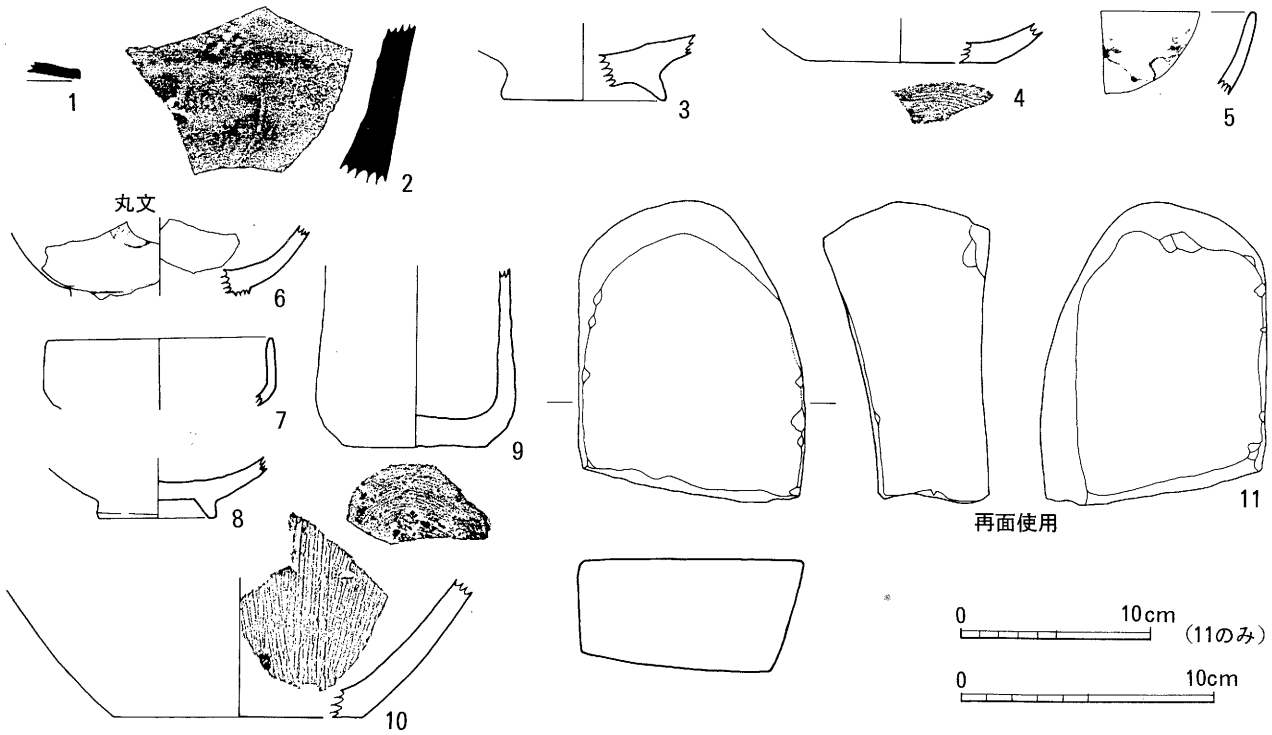


第４図　溝状遺構土層図及び土壙３・４実測図

柱穴径15cm深さ５cm前後である。

溝状遺構：調査区の東端で１条検出されている。溝の形状は、わずかに弧を描くが、ほぼ直線状に南南西方向に伸び、東方向に折れている。溝は北端部で上幅70cm、底幅は30cm、南端部で90cm、底幅は64cmと南に行くほど広くなっている。溝断面はレンズ状に近く、深さ７cm前後で南へ下っており、南北のレベル差は23cmである。

土坑：調査区内で５基検出されている。プランは、円形に近い隅丸方形３基、長方形１基、不成形１基である。隅丸方形３基は長軸が100cm以上の大ピット状であるが、深さはそれ程深くなく、配列に企画性等が認められないので、ここでは土坑として報告する。ＳＣ１は、径118cm、深さ46.5cmである。ＳＣ２は、長軸108cm、短軸96cm、深さ47cmである。ＳＣ３は、隅丸方形で、底面の周囲には幅15cm～25cm、深さ４cm程の浅い溝が巡り、中央部が盛り上がっている。規模については、長軸141cm、短軸116cm、深さ21cm、盛り上がり部について59cm×56cmが計測される。ＳＣ３の西及び北20cm程にはピットがあり、幅40cm程の浅い溝で連結している。西のピットからは砥石が出土している。ＳＣ４は、長方形プランで主軸をＮ－72°－Ｗにとり、規模は128cm×35cmを測る。底面は階段状に下がり、浅い所で17cm、最深部で47cmを測る。ＳＣ５は不成形の土坑で深さ２～３cmが計測され、糸切りの土師器が出土している。



第５図　出土遺物実測図

遺物（第５図）

１は、須恵器の坏蓋の小片で口縁端部が欠損している。小田編年の第Ⅶ～Ⅷ期に相当すると考えられる。２も須恵器であるが、器種は不明の体部下半部である。内面はナデ調整で、外面は格子目タタキの後ナデ調整され、その格子目の一部が残存している。３は、高台付の皿と推定されるもので、高台径6.6cmが復元される。４は、土師器皿で糸切り離しである。底径7.6cmが復元される。５は鳥と梅？の描かれた肥前系の染付碗、６は肥前系丸文碗で外面に二重、内面に一重の圏線が見られる。７はほぼ直立する口縁を持つ碗で内外面とも灰白色を呈し貫入が入る。８は灰白色の碗の底部で畳付露胎で見込みに蛇目剥ぎが見られる。９は褐釉の徳利で底部は糸切りである。10は、備前のすり鉢で全面に一単位10条の櫛描き条痕が見られる。11は砥石で２面とも良く使用されている。その他、Ｐ１から銭貨が出土しているが、文字は判読できない。

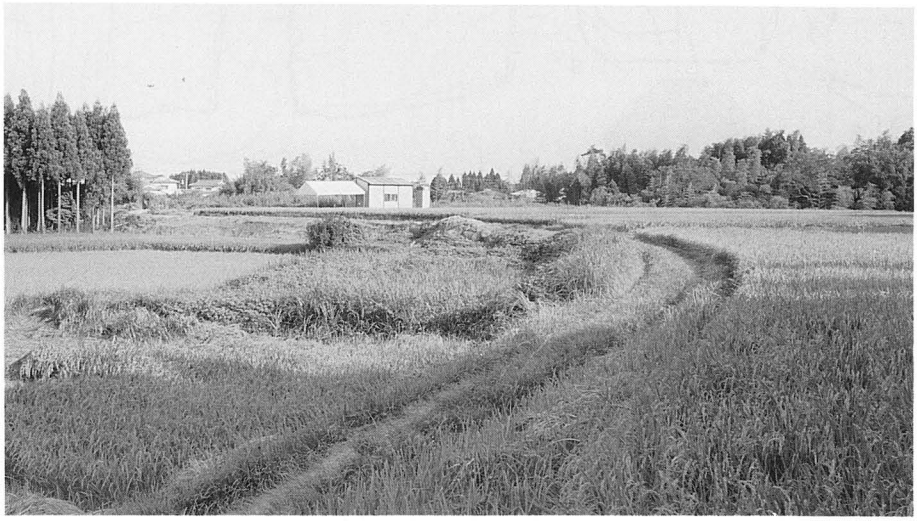
５　まとめ

調査地内は、開田等により削平を受けており包含層の残存状況は極めて悪く、大半の遺物が耕作土ないしその直下出土であり、撹乱された状況である。出土した遺物は、奈良末から平安、中世の時期のものが少量出土したほかは、大半が近世の時期のものが出土している。検出された遺構は、掘立柱建物跡、溝状遺構、土坑、ピットである。ＳＣ５から糸切りの土師器が出土しているが、埋土などから確実にこの遺構に伴っていたとは判断しがたい状態であり、各遺構がどの時期のものかは判別できていない。出土遺物の大半が近世の時期であることから検出遺構は近世の時期である可能性は高い。

今回の調査により小町遺跡は、奈良～平安、中世及び近世の時期であることが確認されたが、調査地が舌状張出し部の東端であり、遺跡の中心は西方に所在するものと推定される。

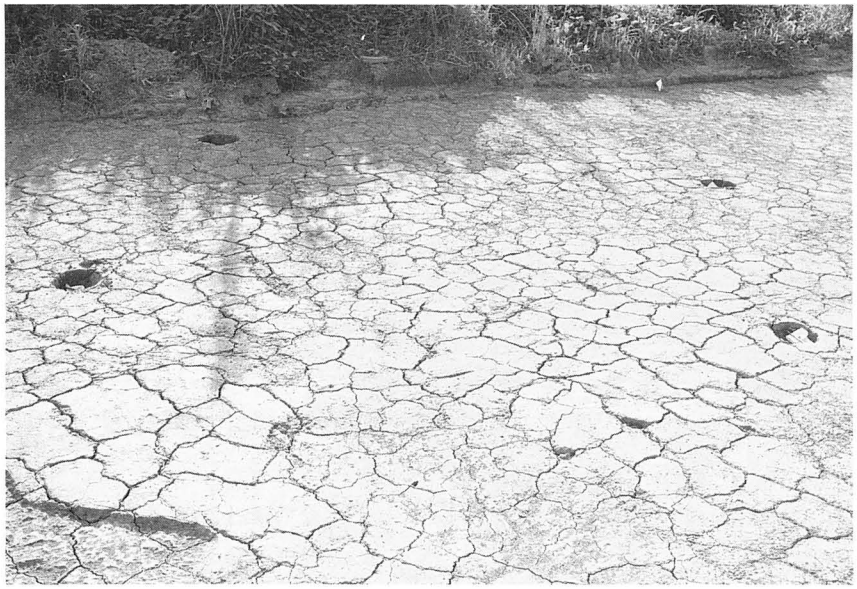
参考文献

「宮崎市遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ［リゾート地区中心として］宮崎市教育委員会　1990
「佐土原町遺跡詳細分布調査報告書」佐土原町文化財調査報告書第５集佐土原町教育委員会　1991. 3



図版1

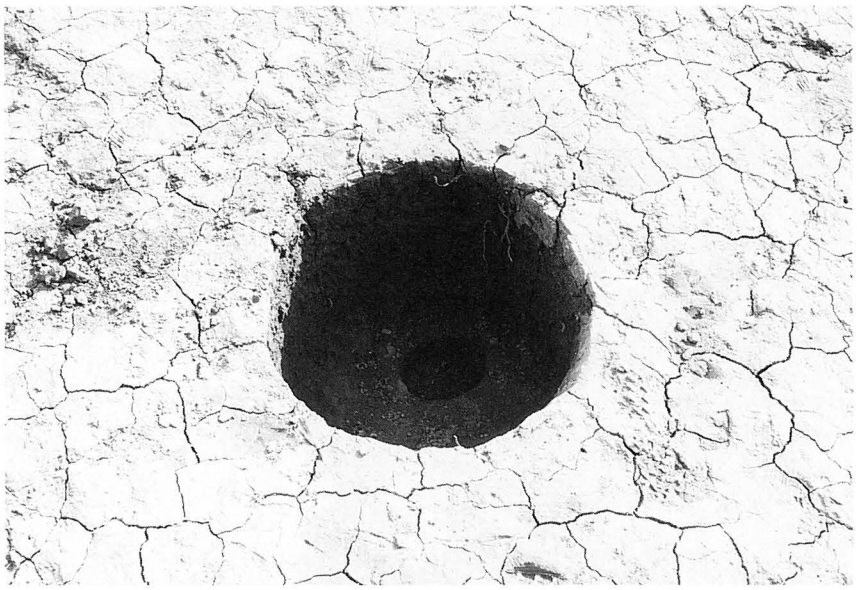
調査区近景
（北西より）



掘立柱建物跡ＳＢ２
（南東より）

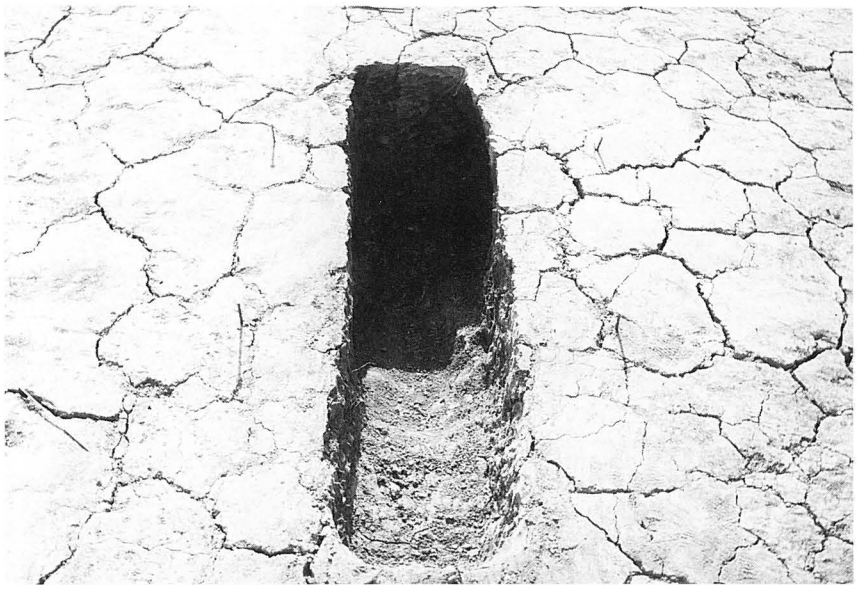
溝状遺構
（北より）

図版2



掘立柱建物跡ＳＢ１
の柱穴（Ｐ２）

土坑ＳＣ３
（南東より）



土坑ＳＣ４
（東より）

付１　平成５年度発掘調査一覧（文化財保護法98条の２による通知）

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
1	上ノ原第２遺跡	宮崎市山崎町字上ノ原1114－９	５．４．12～５．４．27	県	飯田博之	251㎡ 古墳時代（６世紀）；竪穴住居跡２、土師器、須恵器	県道改良（島ノ内一の宮線）
2			５．６．23～５．７．15		戸高眞知子	30㎡ 古墳時代；竪穴住居跡２、土師器、須恵器、耳環	
3			５．11．９～５．11．26		飯田博之	400㎡ 古墳時代；竪穴住居跡２、土壙１、土師器、須恵器	
4	横谷遺跡	延岡市小野町6838－１ほか	５．４．14～５．４．24	県	山田洋一郎	300㎡ 遺構なし；縄文後期土器、石器、貝類、獣骨	河川改修（沖田川）
5	馬場第２遺跡	佐土原町大字下田島	５．４．27～５．５．20	県	戸高眞知子	140㎡ 著しい削平；土器、陶磁器	県道改良（宮本新町線）
6	山ノ田第１遺跡	都城市丸谷町字山ノ田	５．７．21～５．９．２	県	戸高眞知子	150㎡ 弥生時代；ピット群、土器	県道改良（高城山田線）
7	築池遺跡	都城市下水流町3567	５．６．７～５．９．２	県	飯田博之	1800㎡ 弥生後期；竪穴住居跡１、土器、石包丁２、中近世；溝状遺構	県道改良（中方限庄内線）
8	蔵田遺跡	北方町辰字境谷	５．６．14～５．10．７	県	山田洋一郎	2,400㎡ 旧石器；剥片尖頭器、ナイフ形石器、縄文；土坑、弥生；竪穴住居跡１	北方バイパス
9	学頭遺跡	高岡町大字上倉永字井上685－１	５．６．22～５．９．18	県	松林豊樹	200㎡ 縄文後晩期；土坑２、土器石器多数、弥生中後期；土坑１、土器石器多数	県道改良（野首麓線）
10		高岡町大字下倉永字岩崎713	５．10．28～６．３．31	県		1,100㎡ 古墳時代；周溝状遺構１、14～16世紀；溝状遺構４、土坑１ほか	
11	虎崩遺跡	山田町虎崩	５．８．17～５．10．19	県	吉本正典	900㎡ 縄文後期；埋甕１、土器、石器	国営パイプライン埋設
12	青木遺跡	田野町梅谷	５．９．20～５．12．23	県	戸高眞知子	8,000㎡ 縄文早期；焼礫、土器、石器、古墳～平安時代；遺物包含層	国道改良（269号）
13	南学原第１遺跡	佐土原町大字西上那珂	５．10．20～５．12．27	県	山田洋一郎	800㎡ 旧石器時代；集石遺構11、礫群、剥片尖頭器、ナイフ形石器	県道改良（福王寺佐土原線）
14	南町遺跡	門川町大字門川尾末	６．１．５～６．２．８	県	飯田博之	1,970㎡ 縄文後晩期；土坑２、土器（鐘崎式、市来式）、石器	一般国道10号拡幅
15	七野遺跡	田野町七野	６．１．11～６．２．７	県	菅付和樹	840㎡ 縄文前期；土器、縄文中期；土器、弥生土器ほか	国営パイプライン埋設
16	西下本庄遺跡	国富町大字本庄5071	６．１．13～６．３．31	県	戸高眞知子 山田洋一郎	4,000㎡ 縄文後晩期；包含層、古墳時代；竪穴住居跡、平安～江戸；柱穴群	本庄高校運動場整備
17	渡り口遺跡	都城市丸谷町渡り口	６．２．22～６．３．31	県	飯田博之	（4,000）㎡ 平成６年度に継続	河川改修（丸谷川）
18	青木遺跡	田野町梅谷	５．７．22～５．７．23	県	谷口武範	100㎡	確認（国道269号改良）
19	西下本庄遺跡	国富町大字本庄十日町	５．８．26～５．８．27	県	谷口武範	200㎡	確認（本庄高校運動場整備）

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
20	南学原第1遺跡	佐土原町大字西上那珂	5．9．20	県	谷口武範	100㎡	確認（県道改良）
21	神殿遺跡	高千穂町大字三田井	6．2．21～6．2．24	県	谷口武範	100㎡	確認（高千穂バイパス建設）
22	原口遺跡寺原遺跡	西都市大字三宅	5．7．12～5．8．25	県	永友良典	800㎡	確認 農村総合整備パイロット事業
23	外原遺跡	西都市大字三納	5．12．7～5．8．16	県	永友良典	20㎡	確認
24	西都原遺跡ほか	西都市大字三宅	6．1．20～6．3．18	県	永友良典	1,500㎡	確認 農村総合整備パイロット事業
25	高野原遺跡	田野町元野高野原	5．7．26～5．8．25	県	菅付和樹	35㎡	確認 県営農地保全整備
26	片瀬原地区（下ノ山第1・2遺跡）	佐土原町大字下那珂字下ノ山	5．8．11	県	菅付和樹	13㎡	確認 ふるさと農道
27	牛牧原地区遺跡	高鍋町大字上江	5．4．28～5．4．30	県	菅付和樹	10㎡	確認 農村総合整備パイロット事業
28	牛牧地区遺跡	高鍋町大字上江	5．8．4～5．8．19	県	永友良典	400㎡	確認 農村総合整備パイロット事業
29	丸谷地区（上大五郎遺跡）	都城市丸谷町上大五郎	6．8．19～6．8．20	県	石川悦雄	30㎡ 柱穴、土師器	確認 県営丸谷地区ほ場整備
30	上ノ原第2・3遺跡	清武町船引宮崎市細江	5．8．31～5．9．4	県	菅付和樹 石川悦雄 東憲章	約1,200㎡	確認 県営農地保全整備
31	速日峰地区遺跡	北方町巳早日渡	5．12．22 6．3．15～6．3．17	県	永友良典 菅付和樹	50㎡	確認 県営ほ場整備
32	中尾地区（楢原遺跡）	清武町尾平田野町斧砥	6．1．24～6．1．27	県	菅付和樹	80㎡	確認 県営農地保全整備
33	高野原遺跡	田野町元野高野原	6．2．2～6．2．3	県	菅付和樹	20㎡	確認 県営農地保全整備
34	船引地区遺跡	清武町大字船引	6．2．8～6．2．10	県	菅付和樹	40㎡	確認 県営農地保全整備
35	母智丘原第2遺跡	都城市横市町九州農試畑作利用部内	6．2．16～6．2．17	県	石川悦雄	14㎡ 古代～中世；土師器片	確認 九州農試研究施設
36	寺崎遺跡（2次）	西都市大字右松	6．2．7～6．3．25	県	永友良典	80㎡ 古代；掘立柱建物跡、柵列（塀）、溝状遺構	国衙・郡衙・古寺跡等の範囲確認
37	細井地区遺跡	高城町大字有水	6．3．18～6．3．22	県	吉本正典	25㎡	確認
38	垂水第1遺跡	宮崎市大字瓜生野字ソヤノ木原5455－1ほか	5．5．12～5．7．19 5．10．13～5．12．1	市	日高広人	400㎡ 旧石器；ナイフ形石器、角錐状石器、縄文時代；集石遺構、竪穴状遺構、石錐ほか	市道改良（久保垂水線）

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
39	上ノ原遺跡(時屋地区)	宮崎市大字細江字上ノ原5786ほか	5．6．14～5．9．14	市	重山郁子	5,800㎡ 旧石器；ナイフ形石器、縄文時代草創期；爪形文土器、早期；集石遺構	県営農地保全整備
40	車坂第3遺跡	宮崎市大字加江田字犬ノ馬場478－1	5．7．16～5．10．13	市	中山豪	800㎡ 縄文時代早期；集石遺構、弥生時代後期；竪穴住居跡1、近世；墓壙	土地区画整理
41	柿木原地下式横穴2号	宮崎市大字大瀬町2125	5．10．14～5．10．25	市	中山豪	3㎡ 古墳時代後期；地下式横穴墓1、玉類、土師器、須恵器、馬具、鉄器、人骨、歯、貝	農業集落排水事業
42	松添遺跡	宮崎市大字折生迫字箸方426ほか	5．10．12～6．2．28	市	中山豪 日高広人	3,000㎡ 縄文後期；集石遺構、竪穴住居跡1、竪穴遺構2、土器、歴史時代；溝状遺構	土地区画整理
43	生目古墳周辺遺跡	宮崎市大字跡江字井尻ほか	6．1．11～6．2．28	市	中山豪	500㎡ 縄文時代早期；土器、石器、古墳時代中～後期；溝状遺構、地下式横穴	遺跡範囲確認調査
44	山下第3遺跡	宮崎市大字加江田字山下	6．3．1～6．3．31（継続）	市	中山豪	1,500㎡ 時期不明；溝状遺構	土地区画整理
45	上ノ原遺跡(時屋地区)	宮崎市大字細江字上ノ原	5．5．25～5．5．26	県	菅付和樹	500㎡	確認 県営農地保全整備
46	高野原遺跡	田野町元野甲13271ほか	5．9．24～6．1．14	町	森田浩史	10,000㎡ 旧石器時代；礫群、縄文時代早期；焼礫、集石遺構、後期；土器片	県営農地保全整備元野地区
47	馬渡第2遺跡	田野町馬渡甲6030－1ほか	5．9．17	町	森田浩史	25㎡ 遺物等はなし	確認 宅地建設
48	元木遺跡	田野町船ケ山甲6508ほか	5．12．1～6．2．18	町	森田浩史 的場文明	8,000㎡ 縄文時代早前期；土器等、弥生時代後期；竪穴住居跡12、中近世；掘立柱建物53	総合農村整備モデル事業 元木地区
49	佐土原城跡	佐土原町大字上田島	5．9．13～5．9．17	町	木村明史	100㎡ 陶磁器類	確認
50	佐土原城跡	佐土原町大字上田島	6．2．2～6．3．30	町	木村明史	1,200㎡ 城館跡（江戸前期～後期）；柱穴、礫石、敷石、土坑、瓦ほか	出土文化財管理センター建設
51	石塚遺跡	佐土原町大字東上那珂字石塚	5．9．4～6．5．27	町	木村明史	10,000㎡ 縄文早期；集石、奈良～平安時代；窯跡、布目瓦、須恵器片	工業団地造成
52	仲ノ丸遺跡、東亀田遺跡	佐土原町大字東上那珂字東亀田	5．9．13～5．9．17	町	木村明史	100㎡ 弥生土器片・土師器	確認
53	橋山第1遺跡C地区	高岡町大字花見字橋山	5．5．8～5．5．28	町	山本賢一郎	800㎡ 縄文早期；集石遺構、押型文、貝殻文土器、環状石斧ほか	民間施設建設
54	喜呂女木遺跡	高岡町大字小山田	5．7．12～5．7．13	町	島田正浩	遺構なし	確認 町道改良
55	向屋敷遺跡	高岡町大字五町字向屋敷	5．5．17～5．5．18	県	菅付和樹	8㎡	確認 農免農道
56	向屋敷遺跡	高岡町大字五町字向屋敷	5．7．26～5．9．25	町	山本賢一郎	250㎡ 旧石器時代；集石遺構1	農道新設
57	丹度堀遺跡	高岡町大字花見字大原	5．8．4～5．8．9	町	島田正浩	遺構なし	確認 土砂採取

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
58	久木野遺跡	高岡町大字浦之名字久木野	5．11．25 ～ 5．11．29	町	島田正浩	集石遺構、古墳時代遺物	確認 農道新設
59	橋上遺跡	高岡町大字浦之名字橋上	5．5．19 ～ 5．5．20	県	菅付和樹	15㎡	確認 一般農道
60	橋上遺跡第1区	高岡町大字浦之名字橋上	6．1．5 ～ 6．1．26	町	島田正浩	150㎡ 縄文時代早期；集石遺構1	農道新設
61	権現迫第2遺跡	国富町大字八代北俣	5．8．24 ～ 5．9．29	町	新名祐史	320㎡ 縄文土器、弥生土器、陶器	高圧線鉄塔建設
62	池ノ原遺跡	国富町大字八代北俣	5．11．17 ～ 5．12．21	町	新名祐史	480㎡ 集石遺構、縄文土器、細石刃等	高圧線鉄塔建設
63	粕塚遺跡	国富町大字三名字粕塚	5．7．19	県	菅付和樹	6㎡	確認 農道拡幅
64	中迫遺跡	綾町大字北俣中迫3065－1	5．11．15 ～ 5．11．16	町	*菅付和樹	10㎡	確認 土砂採取
65	飫肥城下町遺跡	日南市板敷字十文字8959－15	5．4．12 ～ 5．5．31	市	岡本武憲	400㎡ 磁器22点、陶器11点	個人住宅
66	飫肥城跡	日南市大字板敷8181	5．4．12 ～ 5．5．31	市	岡本武憲	903㎡ 中近世；掘立柱建物跡、陶磁器	飫肥中学校改築
67	影平遺跡	日南市大字平野字影平	6．2．10 ～ 6．2．11	市	的場丈明	30㎡ 縄文・弥生土器	確認 （県立病院建設予定地）
68	狐塚古墳	日南市大字風田字元弓場3649－2	5．6．1 ～ 6．3．31	市	岡本武憲	225㎡　横穴式石室；水晶製勾玉・切子玉、青銅製椀・鈴、須恵器、平安；製塩遺構	保存整備のための発掘調査 次年度へ継続調査
69	下新城遺跡	串間市大字西方字下新城	6．2．7 ～ 6．2．24	市	宮田浩二	70㎡　縄文時代早期；土器、中世；土坑、土師器、青磁、白磁、銭貨	土取り・宅地造成
70	柿ケ迫遺跡	北郷町大字北河内	5．7．20 ～ 5．7．23	町	時元省二	120㎡ 縄文時代前～中期	確認 農道整備
71	柿ケ迫遺跡	北郷町大字北河内	5．10．8 ～ 6．3．31	町	時元省二	6,000㎡ 縄文時代早期；集石炉9	農道整備
	昼野上（C地区）遺跡	北郷町大字北河内	5．10．8 ～ 6．3．31	町	時元省二	300㎡ 弥生時代中期；竪穴住居跡3、土坑2	農道整備 （No.64と同一通知）
72	池ノ友遺跡	都城市早水町4529－2外	5．7．15 ～ 5．9．31	市	桒畑光博	2,000㎡ 弥生土器、土師器、陶磁器、鉄刀	公園造成
73	池ノ友遺跡	都城市早水町4529－2ほか	5．7．20 ～ 5．10．15	市	桒畑光博	4,000㎡　弥生時代中～後期；竪穴住居跡12、周溝状遺構6、土坑8、中世；掘立柱建物跡4、平安時代；周溝墓1	公園造成
74	岩立遺跡	都城市五十町4470－3ほか	5．5．13 ～ 5．5．21	市	横山哲英	9,400㎡ 竪穴住居跡5軒、掘っ立柱建物3棟、土坑50基、集石遺構30基	確認 造成
75	岩立遺跡	都城市五十町4470－3ほか	5．10．1 ～ 6．3．18	市	桒畑光博	9,400㎡　縄文早期；集遺構30、縄文中～後期；竪穴住居跡5、土坑50、弥生後期；掘立柱建物跡3	土砂採取 造成本調査

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
76	月野原第1・2・5、今平第2遺跡	都城市横市町10160ほか	5．5．24～5．5．29	市	横山哲英	弥生土器片、陶磁器	確認 農道建設
77	祝吉御所跡	都城市郡元町3420	5．6．10～5．6．14	市	桒畑光博	90㎡ 柱穴外、土師器、陶磁器	確認 整備
78	ニ夕元遺跡	都城市志比田町3741－17ほか	5．7．12～5．10．18	市	重永卓爾	4,671㎡　古墳時代後期；竪穴住居跡5、掘立柱建物跡3、古代；掘立柱建物跡2、溝1、道路状遺構11、中世；城館跡・大溝2、溝1、橋脚遺構、石組1	土砂採取
79	上ノ園第2遺跡	都城市早鈴町1841－1ほか	5．7．1～5．12．9	市	横山哲英	10,000㎡　弥生後期；竪穴住居跡1、古墳時代前期；竪穴住居跡4、古代；掘立柱建物跡31、溝状遺構5、道路状遺構7、中世；掘立柱建物跡20、溝状遺構31、道路状遺構2、土坑12、井戸1、その他	土地区画整理
80	上大五郎遺跡（丸谷地区）	都城市丸谷町字上大五郎	5．11．23～6．2．16	市	＊東憲章	18,000㎡　弥生後期；竪穴住居跡3、中世；館跡（溝5、掘立柱建物跡26、門状遺構、土坑5）、館跡溝外（掘立柱建物跡8）、ほか	県営ほ場整理
	前畑遺跡（丸谷地区）	都城市丸谷町字前畑	5．12．11～6．3．2	市	＊東憲章	4,000㎡　弥生後期～古墳初頭；竪穴住居跡26、土坑1、中世；竪穴状遺構4、道路状遺構2、土坑7、土壙墓1、近世；墓2、ほか	県営ほ場整備
81	上ノ園第3遺跡	都城市早鈴町1866－40ほか	5．12．13～5．12．17	市	矢部喜多夫	24㎡ 土師器、磁器、古銭	確認 区画整理組合施行
82	金御岳山頂遺跡	都城市梅北町金御岳公園内	5．12．7～5．12．17	市	矢部喜多夫	27㎡ 遺構なし、土師質土器、磁器、銭貨（寛永通宝）	公園整備
83	向原遺跡	都城市立野町3638－4	5．12．24	市	横山哲英	20㎡ 弥生土器他	確認 宅地造成
84	天ケ渕遺跡	都城市安久町字天ケ渕	5．12．21	市	横山哲英	7,215㎡（対象地） 土師器、陶磁器、石器片	確認 宅地造成
85	池之上城跡	都城市都島町917－1ほか	6．1．25～6．3．30	市	横山哲英	5,500㎡　中世；道路状遺構（通路跡）8、軽石組・集石遺構3、土塁跡1、柱跡群	史跡整備
86	安永城跡	都城市庄内町13245－46	6．2．1～6．2．10	市	矢部喜多夫	25㎡	道路拡幅 （市指定現状変更）
87	三俣城跡（松尾城跡）	山之口町大字花木字山田1220－12	5．2．22～5．8．3	町	＊吉本正典	2,200㎡　中世城館（14～16C）；曲輪2、腰曲輪、帯状輪、堀切、虎口（推定地）、溝状遺構3、掘立柱建物跡3、土坑・柱穴群、鍛冶工房跡	公園整備
88	豊広遺跡	高城町大字有水2892－1	5．9．16～5．9．17	町	白谷健一	20㎡ 古墳時代後期；溝	宅地造成
89	上原遺跡第2地点（細井地区）	高城町大字有水字上原	5．12．17～6．3．30	町	白谷健一	6,000㎡　縄文時代後期；竪穴住居跡1軒、弥生時代後期；竪穴住居跡1軒	県営特殊 農地保全整備
90	政所第1・第2遺跡	高崎町大字東霧島913－1ほか	5．5．17～5．5．27	町	山嵜薫	56㎡ 中世；ピット2、土師器	確認 農業関連施設建設
91	平川地区遺跡	小林市大字南西方字平川・生駒	5．6．10～5．7．12	市	中村真由美	550㎡ ピット、弥生土器片	確認 特産物販売所建設
92	橋谷地区遺跡	小林市大字北西方粥餅田	5．7．19～5．7．21	市	中村真由美	299㎡ 不明土器片、石器	確認 送電線鉄塔建替
93	杉玉地区遺跡	小林市大字南西方字杉玉	5．7．26～5．8．1	市	中村真由美	450㎡ 遺構、遺物なし	確認 無線電話中継基地建設

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
94	原田上江遺跡群（法光寺遺跡Ⅱ）	えびの市大字上江字法光寺	5．11．11～5．12．8	市	*吉本正典 中野和浩	600㎡ 平安～鎌倉；石敷道路、竪穴状遺構2、布目瓦	県営ほ場整備
95	田代地区遺跡群（上田代遺跡）	えびの市大字末永字上田代	5．11．24～6．3．25	市	*吉本正典 中野和浩	22,000㎡ 縄文中～後期；竪穴住居跡9、古墳後期；竪穴住居跡17、平安；竪穴住居跡2、ほかに古墳時代・中世の掘立柱建物跡4、柱穴群、土壙墓1、土坑	県営ほ場整備
96	大年谷遺跡（2次）	須木村大字中原字上ノ原	6．1．24～6．2．8	市	*松林豊樹	200㎡ 縄文早期；集石遺構3、礫群2	総合福祉センター建設
97	松本原遺跡	西都市大字清水字宮川ほか	5．4．26～5．12．14	市	蓑方政幾	10,000㎡ 縄文時代早期；集石遺構16、弥生時代；V字溝5（二重環濠を含む）、古墳時代以降；竪穴住居跡41	ニューホープタウン（道路、福祉総合センター）
98	酒元第2遺跡	西都市大字三宅字山王前畑	5．8．26～5．10．25	市	蓑方政幾	1,200㎡ 縄文時代早期；集石遺構9、古墳時代；竪穴住居跡1	山砂利採取
99	尾能遺跡	西都市大字加勢字森林	5．10．20～5．10．28	市	蓑方政幾	500㎡ 近代?；溝状遺構1	集落道拡幅
100	西都原地区遺跡	西都市大字三宅字寺原ほか	5．10．6～6．3．31	市	蓑方政幾 *東憲章	40,000㎡ 縄文時代早期；集石遺構10、弥生時代終末～古墳時代初頭；竪穴住居跡19、中世；土壙墓3	県営農村基盤総合整備パイロット事業（西都原地区）
	牛牧原遺跡	高鍋町大字上江	5．4．1～5．5．20	町	山本格 *永友良典、菅付和樹、長友郁子、東憲章	2,000㎡ 旧石器時代；集石、弥生時代；竪穴住居跡7	県営ほ場整備（調査通知は4年度提出）
101	高鍋城跡	高鍋町大字南高鍋字旧城内	5．11．18～6．3．31	町	山本格	400㎡ 中近世城跡；礫石建物跡2、礫石列2、溝2、土坑、土器溜り	確認 公園整備
102	高鍋城跡	高鍋町大字南高鍋字旧城内6931－1	6．3．3～6．3．31	町	山本格	80㎡ 近世；土坑、瓦、陶磁器	確認 公園整備
103	大塚山遺跡	川南町大字川南字大塚山	5．8．25～5．8．31	町	島岡武	1,700㎡	町道改良
104	萠牟田遺跡	川南町大字平田字萠牟田	5．8．17～5．8．25	町	島岡武	1,800㎡	町道改良
105	明原遺跡	川南町大字川南字明原	5．8．30～5．9．10	町	島岡武	1,040㎡	町道改良
106	後牟田遺跡	川南町大字平田字後牟田	5．9．2～5．9．20	町	島岡武	80㎡	確認 街路
107	後牟田遺跡	川南町大字平田字後牟田	5．11．15～5．6．10 31現在調査中	町	島岡武	3,800㎡ 旧石器時代；配石遺構、落とし穴状遺構、縄文早期；集石遺構	都市計画道路新設、町営住宅用地造成
108	舟川中原遺跡	都農町大字川北字舟川中原	5．9．20～5．10．1	町	吉永真也	400㎡	古墳確認
109	今井野遺跡第2地点	延岡市大字天下字今井野	5．5．10～5．6．14	市	山田聡 尾方農一	500㎡ 縄文・弥生時代；土坑、古墳時代後期；竪穴住居跡1、中世；溝状遺構2	市道改良
110	下三輪町遺跡	延岡市下三輪町	5．6．7～5．6．10	県	東憲章	50㎡	確認 広域農道
111	延岡城跡	延岡市東本小路177－2ほか	5．7．13～5．11．19	市	山田聡 尾方農一	1,500㎡ 中近世；城跡（二ノ丸跡）、礫石建物跡1、掘立柱建物跡1、排水溝1ほか	公園整備

番号	遺跡名	所在地	発掘期日	主体	調査員	面積・時期・遺構・遺物等	備考
112	八田遺跡第2地点	延岡市野田町5255－1ほか	5．10．22～5．11．4	市	尾方農一	320㎡ 古墳時代・中世；ピット群	宅地造成
113	延岡城内遺跡	延岡市本小路39－1	5．11．10～6．3．31	市	山田聡 尾方農一	4,500㎡ 中近世；城跡（堀跡、御厩跡）、井戸跡1、建物基壇跡1、弥生末～古墳時代初頭；溝状遺構	図書館建設
114	日知屋城跡	日向市大字日知屋字伊勢道	5．10．25～5．12．17	市	緒方博文	120㎡ 中世；城跡（第2曲輪）、ピット群	海浜公園整備
115	富高1号墳	日向市大字富高字古城ケ鼻	5．12．13～5．12．16	市	緒方博文	6㎡ 古墳（盗掘坑の埋め戻し）	近隣公園整備
116	寺ノ上遺跡	日向市大字日知屋	6．1．17～6．1．28	市	緒方博文	120㎡ 細石刃核、スクレイパー	確認 区画整理
117	財光寺南地区遺跡群	日向市大字財光寺	6．3．28～6．3．31	市	緒方博文	120㎡ 中近世陶磁器、土師器	確認 区画整理
118	矢ノ原第2遺跡	北方町辰矢の原	5．7．12～5．11．30	町	小野信彦	2,000㎡ 旧石器時代；ナイフ形石器、弥生時代後期；竪穴住居跡1、古墳時代前期；箱式石棺2	農地保全整備
	矢の原第2遺跡	北方町辰矢の原	6．3．14～6．3．31	町	小野信彦	300㎡ 古墳時代前期；箱式石棺5（鉄剣1、鉄鏃若干）	農地改良
119	速日峰遺跡	北方町巳速日峰下	6．1．20～6．2．28	町	小野信彦	1,700㎡ 縄文時代早期；押型文土器、弥生時代後期；竪穴住居跡3、土壙1	県営ほ場整備

付２　平成５年度　県市町村教育委員会発行埋蔵文化財調査報告書一覧

1．宮崎県教育委員会「野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡－九州自動車道（人吉～えびの間）建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告書第２集－」

2．宮崎県教育委員会「国衙・郡衙・古寺跡等範囲確認調査概要報告書」

3．宮崎県教育委員会「谷合第１遺跡・谷合第２遺跡・大塚遺跡－沿海南部地区広域農道建設事業に伴う埋蔵文化財調査報告書（２）」

4．宮崎県教育委員会「鳩薗（東霧島神社）遺跡－東霧島第４砂防ダム建設に伴う埋蔵文化財調査報告書」

5．宮崎県教育委員会「田向遺跡・平谷遺跡－県道向山・日之影線道路改良事業関係埋蔵文化財報告書」

6．宮崎県教育委員会「本地原遺跡－都市計画街路事業八幡線道路改良工事に伴う埋蔵文化財報告書」

7．宮崎県教育委員会「永山原遺跡－霧島南部２期地区広域農道建設工事に伴う発掘調査報告書」

8．宮崎県教育委員会「中尾・牛牧地区遺跡群・元野地区遺跡群・中尾地区遺跡群・船引地区遺跡群・西都原遺跡群－平成５年度農業基盤事業に伴う発掘調査概要報告」

9．宮崎県教育委員会「三納地区遺跡群－城ノ下遺跡・柳原遺跡・志戸平遺跡（２次）－鬼付女川基地周辺障害防止対策事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」

10. 宮崎県教育委員会「土器田東１号・東２号横穴墓前庭部・餅田遺跡・高鍋城下遺跡・林ノ王遺跡－宮崎県文化財調査報告書第37集」

11. 宮崎市教育委員会「垂水第１遺跡－市道久保垂水線改良工事に伴う発掘調査報告書」

12. 佐土原町教育委員会「隠山遺跡概要報告書－佐土原町文化財調査報告書第８集」

13. 田野町教育委員会「八重地区遺跡－田野町文化財調査報告書第18集」

14. 田野町教育委員会「高野原遺跡調査概要－田野町文化財調査報告書第19集」

15. 高岡町教育委員会「橋山第１遺跡Ｃ地区調査報告書－高岡町埋蔵文化財調査報告書第４集」

16. 高岡町教育委員会「高岡町内遺跡遺跡発掘事前総合調査報告書－高岡町埋蔵文化財調査報告書第５集」

17. 高岡町教育委員会「蕨野遺跡－高岡町埋蔵文化財調査報告書第６集」

18. 日南市教育委員会「飫肥城址－飫肥中学校体育館改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査」

19. 高城町教育委員会「上原遺跡（第２地点）－平成５年度細井地区県営特殊農地保全整備事業に伴う発掘調査概要報告書」

20. 都城市教育委員会「上大五郎遺跡・前畑遺跡－丸谷地区県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査概要報告書・都城市文化財調査報告書第26集」

21. 都城市教育委員会「上ノ園第２遺跡－早鈴地区区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－都城市文化財調査報告書第27集」

22. 都城市教育委員会「黒土遺跡－都城市文化財調査報告書第28集」

23. 都城市教育委員会「二夕元遺跡－都城市文化財調査報告書第29集」
24. 小林市教育委員会「小林市遺跡詳細分布調査報告書」
25. 北郷町教育委員会「昼野上遺跡・柿ケ迫遺跡－平成５年度埋蔵文化財調査報告書－北郷町文化財調査報告書第４集」
26. えびの市教育委員会「原田・上江遺跡群　法光寺遺跡Ⅱ－上江・池島地区県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要－えびの市埋蔵文化財調査報告書第13集」
27. えびの市教育委員会「田代地区遺跡群　上田代遺跡－中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要－えびの市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集」
28. 串間市教育委員会「三幸ケ野遺跡・三幸ケ野第２遺跡－県営農地保全整備事業三幸ケ野地区に伴う埋蔵文化財調査報告書－串間市文化財調査報告書第10集」
29. 串間市教育委員会「奈留地区遺跡　猪之椪遺跡・留ケ宇戸遺跡－県営農地開発事業奈留地区に伴う埋蔵文化財調査報告書（１）－串間市文化財調査報告書第11集」
30. 木城町教育委員会「高城跡－木城町文化財調査報告書第４集」
31. 新富町教育委員会「新田原古墳群－新富町文化財調査報告書第18集」
32. 高崎町教育委員会「町内遺跡試掘調査－高崎町文化財調査報告書第５集」
33. 西都市教育委員会「宝財原遺跡－平成３年度県営農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財発掘報告－西都市埋蔵文化財発掘調査報告書第20集」
34. 西都市教育委員会「西都原古墳研究所年報第10号」
35. 門川町教育委員会「門川町遺跡詳細分布調査報告書」
36. 日向市教育委員会「百町原遺跡－県営ほ場整備事業百町原地区工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」
37. 日向市教育委員会「東草場遺跡－若宮近隣公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書」
38. 延岡市教育委員会「西階城周辺遺跡（第１次）・八田遺跡第２地点・樫谷遺跡・上池遺跡・延岡城内遺跡Ｅ地点－平成５年度市内遺跡発掘調査事業に伴う埋蔵文化財調査報告書－延岡市文化財調査報告書第12集」
39. 延岡市教育委員会「上南方地区遺跡・中尾原遺跡・山口遺跡－延岡市文化財調査報告書第13集」
40. 東郷町教育委員会「広瀬田遺跡－東郷町文化財報告書第３集」

宮崎県文化財調査報告書

第38集

平成7年3月

発　行　　宮崎県教育委員会

編　集　　宮崎県教育庁文化課